



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2019～2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
RIテーマ ロータリーは世界をつなぐ

クラブテーマ「私たちは風土を大切に守り発展を続けていきます」

会長 山田定男

副会長 加藤正幸 幹事 石井和郎

第1430回例会
2019.10.25(金)雨

司会:藤川智徳君 指揮:田村康晃君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山田定男君



先日、仕事の関係で上海へ行ってきました。上海へは12年前に一度行ったことがあるのですが、40～50階建てのタワービルが数多く建てられ、さらに都会的になっておりました。

街で印象的だったのがオートバイの多さです。このオートバイは電気で走っています。人々のもっとも一般的な交通手段であり、登録制ですが運転免許はいらないそうです。又、街から浦(プ)東(ドン)国際空港までの距離およそ47kmはリニアモーターカーでつながっています。所要時間は15～19分で、12年前も走っていました。前回乗った時は時速420kmで運行していたのですが今回時速300kmだったため不思議に思い詳しく聞いたところ、混雑する時間帯は420kmで走っているそうです。ちなみにこのリニアモーターカーはフランスの技術が採用されています。日本のリニアも頑張れ！

スマイルボックス

田中錦城君:不順な天候が続きますが、体調管理して下さい。

おめでとう

入会記念日 10月26日 宮澤正昭君
10月26日 田村康晃君



出席報告

	出席総数	出席率	会員総数	
今回	20/33	60.61%	35名	

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、大庭君、大村君、小島君、小林君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(俊)君、鈴木(真)君、土屋君、中村君、中本君、山口(雅)君
(*出席免除会員の欠席者 片野君、澤田君)

幹事報告

幹事 石井和郎君

- ①地区大会11月4日(月)6時 鈴木学園前集合
出席者(山田会長、矢岸君、加藤君、服部君、石井(邦)君、大庭君、田村君、鈴木君、伊丹君)は時間厳守でお願いします。
- ②各テーブル内においてメイクアップについて討議してください。
- ③新年会打ち合わせ、11月15日例会後行います。担当の方よろしくをお願いします。



渡邊裕介君

住起産業は昭和46年9月に設立、この10月で49年目を迎えました。

事業内容としては、創立当初は市の公共事業をはじめ、分譲工事の下請け、道路工事等の土木業から始まり、創業から15年目を迎えた頃、カナダからの輸入住宅ログハウスやポスト&ビームの建築、また三島を中心に沼津、裾野といった東部エリアにサンヴェールシリーズの分譲マンション、また県内では初のタウンハウス、戸建式マンションのアプローチタウンの分譲マンションなど計10数棟の分譲マンション事業も手がける様になりました。

平成13年7月カナダから帰国後、まずはアプローズタウンの販売からが私の住宅、不動産営業としての仕事、人生が始まりました。その後、土地分譲、戸建住宅を中心とする事業展開をし、個人的には受注数を毎年更新、5年目には年間21棟の受注実績、プラスして50区画を超える自社分譲地の販売をこなす、営業マンとしての力も発揮できるようになりました。同時に企画部の立ち上げ、住起産業の認知を上げて行く為、自社のふくろうキャラクターを提案、広告宣伝、看板、ラッピングバス、テレビCM、SNSを使った仕掛けも取り入れました。

一昨年からの販売を開始した全63区画のサンステージ裾野スカイフィールド、昨年のサンステージ向山、王の郷、はにまるタウンの全133区画の分譲地販売では、営業2人と少ない環境でどうこの数を捌いて行くかを考え、販売チームを発足、仲間の不動産屋6社を集め販売協力を得る発案もし、現在モデルハウスを残し、全ての土地の完売を成功させる事が出来ました。

昨年11月に社長に就任。営業として、社長業を習得する為にと試行錯誤しながら務めた新たな1年となりました。つい2週間前に全体会議、決算を迎え、売り上げ、利益的にもまずまずの結果の出た1年にもなりました。

今後は更なる高い目標数字を掲げた中で、新たな一般住宅のシリーズもこれから発表していきます。SNSを使った仕掛けも今までにない事を考えております。まだまだ営業としてやりたい事、社長就任してからの2年目でやりたい事、やらなくてはならない事もたくさんありますが、今後ともまた皆様からの御指導とご鞭撻を頂きながら頑張りますので、暖かく見守って下さい。どうぞ宜しくお願い致します。

ROTARY NEWS

世界ポリオデーの10月24日、ロータリーとパートナー団体による世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)は、「ポリオのない世界」という究極の目標に向けて、また一步、大きな前進を遂げました。この日、3型の野生型ポリオウイルス株の根絶が発表されました。

この歴史的な発表は、世界ポリオデーにロータリーが世界各地で配信した特別プログラムの中で、世界保健機関(WHO)のテドロス・アダノム事務局長が行いました。同氏は、3型ウイルス株による発症が2012年11月にナイジェリアで検知されて以来報告されておらず、専門家から成る独立委員会が、この種類のウイルス株が世界的に根絶されたことを結論づけたと述べました。2型ウイルス株は、2015年に既に根絶が宣言されています。

「これにより、残るは1型の野生型ポリオウイルスだけ」とテドロス・アダノム氏は述べ、ポリオフリーの世界の実現に向けたこれまでのロータリーの尽力に言及しました。また、自己満足が最大の敵だと指摘し、「最後の一押しのために2倍の努力で臨んでいただきたい」と激励のメッセージを寄せました。

「今活動を止めれば、ウイルスが再び流行し、年間20万人以上が新たに発症するという以前の状態に戻ることになります。(中略)私たちは最後までやり遂げなければなりません。力を合わせれば、未来の子どもたちが“ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます」

ロータリーによる今年の世界ポリオデープログラムは、世界各地に合わせた時間帯と言語で、フェイスブックにて配信されました。UNICEF USAとビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなったこのプログラムでは、パラリンピックメダリストのアデ・アデピタンさん、スーパーモデルのイザベリ・フォンタナさん、科学教育者のビル・ナイさん、女優のアーチャー・パンジャビさんなども登場しました。

またこのプログラムには、インド、パキスタン、ウクライナの子どもたちをポリオから守るために活動しているロータリー会員3名を紹介した映像も含まれていました。パキスタンでは、ロータリアンのタヤバ・グルさんが医療従事者のチームと協力し、ポリオワクチンの重要性について母親と子どもへの教育を行っています。インドのヘメンドラ・ベルマさんは、医療従事者とボランティアを通じて、すべての子どもに予防接種することを奨励しています。また、ウクライナのロータリアンであるセルフ・ザバスキーさんは、子どもへの予防接種に消極的な人たちに情報を提供するため、ソーシャルメディアや公共イベントを利用したアドボカシーと啓発プログラムを実施しています。これらの3人のヒーローは、世界中のロータリアンと同じく、献身的にボランティア活動をする事の大切さを伝えています。